

整理番号	事業名
112	青森ねぶた祭り参加経費

所管部局
観光部ブランド推進課

※()の数字は、委員数

所管部局の評価			外部評価	
評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価の妥当性	「妥当でない」と評価した理由
必要性	事業の市民ニーズ	高まっている	妥当(3) 妥当でない(1)	○参加者数が定員割れしている現状がある。
	市の関与の妥当性	社会情勢等から関与が妥当	妥当(4) 妥当でない(0)	
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	妥当(1) 妥当でない(3)	○事後アンケートによる成果の検証(成果の見える化)や、実施報告等のPRをもっと増やすと、参加申込の増につながっていくのではないかと。 ○実施規模(参加人数)を見直し通年化する、あるいは宿泊コースも選択できるようにする等、青函交流の増に向けた事業の活性化も今後検討する必要がある。
	事業目的実現のための手段	現手段も有効だが他の手段も考えられる	妥当(2) 妥当でない(2)	
コスト・負担	コストの節減度	節減できている	妥当(4) 妥当でない(0)	○市民ニーズの検証を行い、ニーズが少ない場合にはコストの軽減を検討すべき。
	将来コスト増減見込み	現在と変わらない	妥当(3) 妥当でない(1)	
	受益者負担の適正度	評価対象外		
執行方法	外部委託の可能性	すでに実施	妥当(4) 妥当でない(0)	
	実施方法の効率性	図られている(今後の改善は難しい)	妥当(4) 妥当でない(0)	

所管部局による今後の改善策	
基本方針	現行どおり



今後の改善策について	意見・提言
①現行どおり (0) ②改善(1) ③当面現状維持(3) ④廃止(0)	○青函交流についてはご縁を深める取組も必要であると感じているので、もっとPRを増やし交流し合う人材を増やしてほしい。 ○青函交流事業である以上、通年化して市民の意識向上を図るべき。 ○SNSの活用によるPRの効率化 ○北海道新幹線開業までは現行通りで良いが、開業後も必要かどうか、逆に毎年参加するなど手法の見直しは必要ないか、などの検討を予めしておく必要がある。
外部評価委員会としての提言 当面現状維持	

